

鈴木ヒラク

1978 年宮城県生まれ、神奈川県育ち。現在、神奈川県／東京都在住
website: www.hirakusuzuki.com
mail: info@hirakusuzuki.com

<学歴>

2008 年 03 月 東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了
2001 年 03 月 武蔵野美術大学美術学部情報映像学科卒業

<受賞／アーティスト・イン・レジデンス>

2024 年 11 月 第 35 回タカシマヤ文化基金 タカシマヤ美術賞第 9 回
2023 年 09 月-10 月 文化庁芸術家在外研修員として DRAWinternational に滞在（フランス）
2017 年 01 月 THE 2017 FID PRIZE インターナショナル・ドローイング・コンテスト グランプリ受賞（パリ）
2012 年 09 月-13 年 08 月 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員としてベルリンに滞在（ドイツ）
2011 年 09 月-12 年 03 月 アジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC) の助成によりニューヨークに滞在（アメリカ）
2011 年 05-08 月 財団法人東京都歴史文化財団の助成によりチェルシー・カレッジ・オブ・アーツに滞在（イギリス）
2009 年 11-12 月 Red Bull House of Art に参加。サンパウロに滞在（ブラジル）
2009 年 02-03 月 財団法人東京都歴史文化財団の助成により Artspace Sydney に滞在（オーストラリア）

<職歴>

2024 年 12 月 ヴロツワフ芸術大学（ポーランド） 客員教授
2021 年 04 月- 東京芸大大学院グローバルアートプラクティス専攻 准教授

<個展>

2025 年 04 月 海と記号 - ポーラ ミュージアム アネックス（東京）
02 月 目と星雲 - ZeroBase 神宮前（東京）
2024 年 02 月 Works on Paper - NADiff a/p/a/r/t（東京）
2023 年 09 月 今日の発掘 - 群馬県立近代美術館（群馬）
2020 年 02 月 Before the Cypher - OIL Gallery（東京）
01 月 Silver Marker and Some Stones - アニエスベー ギャラリー プティック（東京）
2019 年 09 月 Excavating Reflections- Galerie chantiers Boîte Noire（モンペリエ、フランス）
07 月 The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館（北海道）
2018 年 10 月 The Writing of Meteors - EACH MODERN（台北）
10 月 STONES, LIGHTS, NORTH - ザ・ノースフェイス STANDARD（東京）
04 月 交通 - アートフロントギャラリー（東京）
2017 年 10 月 アーツ前橋連携企画 特別展示 鈴木ヒラク - rin art association（群馬）
2016 年 10 月 Constellations - 西武渋谷店（東京）
2015 年 09 月 GENZO - Misa Shin Gallery（東京）
04 月 かなたの記号 - 国際芸術センター青森（青森）
2013 年 03 月 Excavated Reverberations - 大和日英基金・ジャパンハウスギャラリー（ロンドン）
2011 年 08 月 Glyphs of the Light - ウィンブルドン・スペース（ロンドン）
2010 年 12 月 U - island MEDIUM（東京）
06 月 GENG A and Recent Drawings - ギャラリー デュ ジュール アニエスベー（パリ）
2008 年 02 月 NEW CAVE - トーキョーワンダーサイト渋谷（東京）
2006 年 07 月 dig - ギャラリー デュ ジュール アニエスベー（パリ）
2004 年 11 月 NAZO - アップリンク・ギャラリー（東京）
2003 年 02 月 鈴木ヒラク個展 - INAX ギャラリー 2（東京）
2000 年 07 月 bacteria sign - ギャラリーフレスカ（東京）

<グループ展>

2025 年 09 月	線が、息づく。好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング - 北海道立三好太郎美術館 mima (北海道) <予定>
07 月	ミネバネ！現代アート タグチアートコレクション - 秋田県立美術館 (秋田) <予定>
02 月	コレクション展 3 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
2024 年 08 月	日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション - 東京都現代美術館 (東京)
05 月	第 9 回東山魁夷記念 日経日本画大賞展 - 上野の森美術館 (東京)
05 月	Forensic Vision - Geppart Gallery (ヴロツワフ、ポーランド)
04 月	カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション - 山形美術館 (山形)
03 月	百年後芸術祭 - 市原湖畔美術館 (千葉)
2023 年 08 月	constellation #03 rin art association (群馬)
07 月	アーツ前橋開館 10 周年記念 コレクション+ 手のひらから宇宙まで - アーツ前橋 (群馬)
07 月	Interconnection 鈴木ヒラク・盛圭太二人展 - 三越コンテンポラリーギャラリー (東京)
2022 年 08 月	ROOTS & ARTS SHIRAOI 白老文化芸術共創 - 旧しらおい発掘堂 (北海道)
08 月	Art Front Selection 2022 summer - Art Front Gallery (東京)
07 月	Signals - Drawing Tube - NADiff a/p/a/r/t (東京)
05 月	MEET YOUR ART FESTIVAL2022: The voice of No Mans Land - 恵比寿ガーデンプレイス (東京)
03 月	MOT コレクション 光みつる庭／途切れないささやき - 東京都現代美術館 (東京)
03 月	N/world - MtK Contemporary Art (京都)
01 月	Drawings - Plurality 複数性へと向かうドローイング <記号、有機体、機械> - PARCO MUSEUM TOKYO (東京)
2021 年 11 月	生の軌跡—Traces of life— - アーツ前橋 (群馬)
10 月	New Horizon：西野壯平 Sohei Nishino・鈴木展 Hiraku Suzuki - EACH MODERN (台北、台湾)
09 月	コレクション展「揺れる光／拡散する色彩」 - 群馬県立近代美術館 (群馬)
	EXPOSITION GRAFFITI ET LA GALERIE DU JOUR AGNÈS B. 1985–2021 - La Fab (パリ)
08 月	Summer Selection：Drawing Nature - アートフロントギャラリー (東京)
	AGNÈS B. x HIRAKU SUZUKI “野生の記号 SIGNES SAUVAGE” コレクション - 京都 BAL 店 (京都)
06 月	constellation #02 - rin art association (群馬)
2020 年 12 月	INSIDE THE COLLECTOR'S VAULT, VOL.1—解き放たれたコレクション展 - WHAT (東京)
09 月	先端芸術 2020 / アペラシオン APPARATION - 先端芸術表現科 20 周年&伊藤俊治教授退任 記念展 - 東京藝術大学大学美術館陳列館 (東京)
06 月	constellation #01 - rin art association (群馬)
2019 年 11 月	MOT アニュアル 2019 Echo after Echo: 仮の声、新しい影 - 東京都現代美術館 (東京)
	球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 札幌芸術の森美術館 (北海道)
09 月	BOOM - MO.CO. Panacée (モンペリエ、フランス)
	球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立函館美術館 (北海道)
06 月	球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立釧路芸術館 (北海道)
04 月	球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立帯広美術館 (北海道)
02 月	アートみやぎ - 宮城県立美術館 (宮城)
2018 年 11 月	アラワシの詠 (うた) - はじまりの美術館 (福島)
09 月	ビヨンド・ワンダー - さまざまなユートピアへの眼差し - 名古屋芸術大学アート&デザインセンター (愛知)
04 月	21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 - 平塚市美術館 (神奈川)
02 月	psmg vol.003 鈴木ヒラクxコンタクトゴンゾ - コンタクトゴンゾ事務所 (大阪)
01 月	コレクション展 3 見ることの冒険 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
2017 年 12 月	アートのなぞなぞ - 高橋コレクション - 静岡県立美術館 (静岡)
10 月	point to line アブデルカデル・ベンチャマ／鈴木ヒラク - アニエスパー銀座 Rue Du Jour (東京)
10 月	ヒックリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所 - アーツ前橋 (群馬)
04 月	高橋コレクションの宇宙 - 熊本市現代美術館 (熊本)
04 月	いちからはアートxミックス - アートハウスあそびらの谷 (千葉)
03 月	織細と躍動 - ポーラ ミュージアム アネックス (東京)
03 月	SIDE CORE — 路・線・図 - Gallery TRAX (山梨)
2016 年 09 月	山形ビエンナーレ - 東北芸術工科大学 (山形)
07 月	ぐるっと展望！現代アート入門 - 高橋コレクション - 金津創作の森 (福井)
04 月	Very Addictive - Re extension of Aesthetics in Daily Life - 銀川現代美術館 (銀川、中国)
03 月	contemporary art works in kyo-machiya - gallery the youth (京都)
02 月	第 8 回恵比寿映像祭 動いている庭 - 恵比寿ガーデンホール (東京)
2015 年 12 月	THINK TANK Lab Triennale / International Festival of Contemporary Drawing ヴロツワフ建築美術館 (ヴロツワフ、ポーランド)
11 月	5 x 3 - クンストラム・デュッセルドルフ (デュッセルドルフ、ドイツ)
10 月	COSMOS/INTIME - パリ日本文化会館 (パリ)
04 月	TRAITS d'esprit - ギャラリー デュ ジュール アニエスパー (パリ)
2014 年 09 月	国東半島芸術祭 希望の原理 - 旧香々地町役場 (大分)
06 月	バンクーバー・ビエンナーレ (バンクーバー、カナダ)

03月 DRAWING NOW PARIS – キャロ・デュ・タンブル／エスパス・コミヌ (パリ)

2013年09月 日産アートアワード - BankART Studio NYK (神奈川)

09月 高橋コレクション — マインドフルネス！ - 札幌芸術の森 (北海道)

07月 高橋コレクション — マインドフルネス！ - 霧島アートの森 (鹿児島)

04月 DRAWING NOW PARIS – カルーゼル・デュ・ルーヴル (パリ)

02月 Wall Art Festival in Warli - Jivan Sikshan Mandir Ganjad (ダハヌ、インド)

2012年09月 ソンエリュミエール、そして叡智 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)

07月 パンタ・レイ 小金沢健人/鈴木ヒラク - TALION Gallery (東京)

03月 SIDE CORE — 日本美術とストリートの感性 - BA-TSU ART GALLERY (東京)

01月 One And Many - Location One (ニューヨーク)

2011年11月 地表から遠く離れて 鈴木ヒラク/逢坂卓郎 - TALION Gallery (東京)

09月 DRAWING — 線を描くという営為 - island MEDIUM (東京)

2010年03月 六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か？ - 森美術館 (東京)

07月 NON FICTION - Pulp/萬福寺 (大阪)

2009年11月 Red Bull House of Art – ホテル・セントラル (サンパウロ)

05月 Re: Membering — Next of Japan - Gallery LOOP (ソウル、韓国)

04月 愛についての 100 の物語 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)

03月 VOCA 展 2009 - 上野の森美術館 (東京)

03月 Between Site & Space - Artspace Sydney (シドニー)

2008年11月 FIXMIXMAX! 2 — 現代アートのフロントライン - 札幌宮の森美術館 (北海道)

10月 MIMITOME – Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)

09月 都市のディオラマ：Between Site & Space - トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京)

2004年08月 Tokyo Style in Stockholm – Karl Johans Torg (ストックホルム)

08月 Tokyo Style in Gothenburg - Roda Sten (ヨーテボリ、スウェーデン)

2002年08月 Tokyo Art Jungle - 東京国際フォーラム/JR 山手線 (東京)

2000年11月 World Wide Network Art 2000 - ギャラリーフローラ/T 法然院 (京都)

07月 現代日本版画展 - AECl (サンタクルス、ボリビア)

<主なライブドローイングパフォーマンス> (w/ は共演を示す)

2024年11月 第 63 回 MOT 美術館講座 日本現代美術私観 作家たちの対話シリーズ vol.3 w/名和晃平 - 東京都現代美術館 (東京)

2023年12月 ライブドローイング w/FUJI|||||||TA- 群馬県立近代美術館 (群馬)

09月 ライブドローイング+トーク - 群馬県立近代美術館 (群馬)

03月 「鈴木ヒラク・中山晃子・浅井裕介ドローイングトリオ」音楽堂のピクニック- 神奈川県立音楽堂 (神奈川)

2022年12月 未知のプリズム w/沢田穂治、サイモン・フィッシャー・ターナー、森崇、アオイヤマダ - アップリンク吉祥寺 (東京)

03月 Wizard of OP vol.000 w/小金沢健人、内橋和久- ANB Tokyo (東京)

03月 N/world - MtK Contemporary Art (京都)

2021年03月 ドローイング・オーケストラ featuring Abdelkader Benchamma w/ アブデルカデール・ベンチャマ、大原次郎、華雪、中山晃子、西野壮平、村田峰紀、やんツー、NAZE - TERRADA ART COMPLEX (東京) オンライン配信

2020年09月 山形ビエンナーレ 2020 「新しい線を思い出す」 - 東北芸術工科大学 (山形) *オンライン収録配信

02月 ドローイング・オーケストラ w/ 大原次郎、カニエ・ナハ、西野壮平、ハラサオリ、村田峰紀、やんツー、BIEN 東京都現代美術館 (東京)

2019年12月 鈴木ヒラク×鈴木昭男 - 東京都現代美術館 (東京)

09月 北海道立函館美術館 (北海道)

07月 The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館 (北海道)

05月 Drawing Tube vol.4 w/ 西野壮平×GAP students - Hiraku Suzuki Studio (東京)

03月 アートみやぎ - 宮城県立美術館 (宮城)

2018年06月 「一本の木から」トーク+パフォーマンス w/小金沢健人 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)

2017年12月 かくとはなす w/ 今福龍太 - アーツ前橋 (群馬)

11月 Drawing Tube vol.3 w/ アブデルカデール・ベンチャマ - トーキョーアーツアンドスペースレジデンス (東京)

09月 New Optimism w/ ハトリミホ - KATA (東京)

09月 札幌国際芸術祭 2017 w/ 吉増剛造 - 札幌芸術の森 (北海道)

08月 村田峰紀+ w/ 村田峰紀 - ギャラリーハシモト (東京)

04月 スガダイローと JASON MORAN と東京と京都 w/ スガダイロー、ジェyson・モラン - ロームシアター (京都)

2016年12月 JINS Exploration w/ MOTHER TEREKO - JiNS 三宮店 (兵庫)

09月 「本を描く」 Drawing Tube vol.2 w/ 伊藤存 - 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス (東京)

09月 Drawing Tube vol.1 w/ 吉増剛造 - 東北芸術工科大学 (山形)

08月 Drawing Tube vol.0 w/ 坂口恭平 - shimauma (東京)

2015年10月 アニエスパー!! Spirit - 新宿伊勢丹 (東京)

06月 音とドローイングのインプロビゼーションライブ w/ ハトリミホ、勝井裕二、U-zhaan、内田直之 - 下北沢 440 (東京)

05月 かなたの記号 - 国際芸術センター青森 (青森)

2014 年 10 月 山形ビエンナーレ w/ 鈴木昭男 - 文翔館 (山形)
 10 月 Red Bull Music Academy w/ 灰野敬二 - スーパー・デラックス (東京)
 09 月 栗津潔、マクリヒロゲル 1 「美術が野を走る：栗津潔とパフォーマンス」 オープニングプログラム w/スガダイロー
 金沢 21 世紀美術館 (石川)
 06 月 Vancouver Biennale w/ ロス・バードワイズ、ソレッサ・ガードナー、ジョー・シャミニアック -
 コールハーバー・コミュニティ・センター (バンクーバー、カナダ)
 03 月 COVERD TOKYO w/ スガダイロー - PARK HOTEL (東京)
 2013 年 02 月 Wall Art Festival in Warli - Jivan Sikshan Mandir Ganjad (ダハヌ、インド)
 01 月 ソンエリュミエール、そして叡智 w/ 植野隆司 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
 2012 年 07 月 XXX w/ 植野隆司 - スーパー・デラックス (東京)
 06 月 HORS PISTES w/ カジワラトシオ、東野祥子、河村康輔、Rokapenis - アップリンク・ファクトリー (東京)
 05 月 PULSE 振動 w/ Kitchen Orchestra, 永戸鉄也 - スーパー・デラックス (東京)
 03 月 Opalnest presents Editquette w/ ローレン・コナーズ、ジュリアン・ランゲンドルフ - Printed Matter (ニューヨーク)
 2011 年 12 月 Hiraku Suzuki Live Drawing w/ ラズ・メシナイ - Location One (ニューヨーク)
 08 月 Glyphs of the Light - ウィンブルドン・シアター (ロンドン)
 05 月 Mai Jazz Festival - w/ Kitchen Orchestra, 永戸鉄也 - Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)
 2010 年 12 月 U - island MEDIUM (東京)
 06 月 2010 年春夏パリコレクション - アニエスベーCMC (パリ)
 03 月 六本木アートナイト w/ Shing02 - 森美術館 (東京)
 02 月 星のこぶちでコツン w/ カジワラトシオ、東野祥子 - スーパー・デラックス (東京)
 2009 年 07 月 愛についての 100 の物語 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
 05 月 愛についての 100 の物語 w/ Shing02 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
 04 月 愛についての 100 の物語 recording w/ 植野隆司 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
 2008 年 10 月 MIMITOME w/ 灰野敬二、中原昌也、ぴかちゅー、生西康典、永戸鉄也 - Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)
 08 月 FLAT SESSION w/ 中村賢治 GROUP - スーパー・デラックス (東京)
 08 月 Matar O No Matar w/ BABY-Q - スーパー・デラックス (東京)
 04 月 インサイド／アウトサイド w/ Shing02, JUNZO, 伊東篤宏 - アップリンク・ファクトリー (東京)
 02 月 サロン天国 vol.6 w/ 竹久圖 - スーパー・デラックス (東京)
 2007 年 02 月 w/ 煙巻ヨーコ、伊東篤宏 - アップリンク・ファクトリー (東京)
 02 月 Kuala Mute Geek vol.09 w/ クリストフ・シャルル - andZONE (東京)
 2006 年 09 月 w/ EYE, カジワラトシオ, MOOCHY - サウンドチャンネル (大阪)
 07 月 dig - ギャラリー デュ ジュール アニエスベー (パリ)
 08 月 cooking 2 w/ L?K?O - GRID605 (東京)
 07 月 cooking 1 w/ 植野隆司 - GRID605 (東京)
 2005 年 12 月 札幌メディアパークスピカ (北海道)
 11 月 Tree of Life w/ 山川冬樹, KUJUN - アップリンク・ファクトリー (東京)
 10 月 高輪プリンスホテル貴賓館 (東京)
 09 月 Kosmic Renaissance Japan Tour w/ Kosmic Renaissance, 宇川直宏 - リキッドルーム (東京)
 04 月 愛・地球博 2005 (愛知)
 2004 年 12 月 NAZO NIGHT vol.4 w/ テニス Courts - アップリンク・ギャラリー (東京)
 12 月 NAZO NIGHT vol.3 w/ 生西康典 - アップリンク・ギャラリー (東京)
 12 月 NAZO NIGHT vol.2 w/ SEIN - アップリンク・ギャラリー (東京)
 12 月 NAZO NIGHT vol.1 w/ Shing02, DJ A-1 - アップリンク・ギャラリー (東京)
 10 月 w/ テニス Courts - Spaon (北海道)
 08 月 Tokyo Style in Stockholm w/Shing02, DJ A-1, 梅田宏明 - Kulturhuset (ストックホルム)
 01 月 サノバラウド w/ 藤乃家舞, ガムランオーケストラ - スーパー・デラックス (東京)
 2003 年 11 月 w/ Shing02 - リキッドルーム (東京)
 08 月 札幌護国神社 (北海道)
 07 月 Asahi Art Festival 2003 w/ こだま和文 - アサヒスーパードライホール (東京)
 07 月 mud and words w/ Shuren the fire - BAR S-II (札幌)
 04 月 MINDBOGGLER w/ 生西康典, 植野隆司 - スーパー・デラックス (東京)
 02 月 Tokyu Deconstruction w/ 生西康典 - Organ Bar (東京)
 2002 年 04 月 GADABOUT w/ Shing02 - MILK (東京)
 2000 年 11 月 法然院 (京都)
 08 月 bacteria sign w/ nibo, 岩井主税 - つつじの里児童遊園 (東京)

＜主なコミッションワーク＞

2022 年 11 月	十和田市地域交流センター 壁画「光と遊ぶ石たち」（青森）
2021 年 08 月	野生の記号 SIGNES SAUVAGE（アニエスベーとのコラボレーション）
2020 年 12 月	ガレリア御堂原 壁画「ゆらぎから光へ」（大分）
12 月	白井屋ホテル壁画彫刻「発掘された反射（惑星のダンス）」（群馬）
11 月	リコー3L 壁画「光の起源」（東京）
2017 年 01 月	地下遊歩道パブリックアート「点が線の夢を見る」（大分）
2016 年 12 月	JINS 三宮店 ART WALL／ウインドウ壁画（兵庫）
09 月	Point to Line アニエスベー銀座 Rue Du Jour（東京）
2015 年 10 月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b.2015（アニエスベーとのコラボレーション）
2015 年 01 月	コム デ ギャルソン オム プリュス（川久保玲とのコラボレーション）
2014 年 05 月	コム デ ギャルソン オム プリュス（川久保玲とのコラボレーション）
2013 年 12 月	ZOZO BASE 壁画（千葉）
01 月	コム デ ギャルソン シャツ（川久保玲とのコラボレーション）
2012 年 05 月	アニエスベー青山店外壁（ART FACADE PROJECT Vol. 5）
2011 年 11 月	コム デ ギャルソン 青山／京都／ロンドン／香港／ソウル／北京店舗内装（川久保玲とのコラボレーション）
2010 年 12 月	コム デ ギャルソン 北京店外壁（川久保玲とのコラボレーション）
06 月	アニエスベー HOMME Paris Collection／アニエスベー本社壁画
2009 年 09 月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b. 2009（アニエスベーとのコラボレーション）
2008 年 10 月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b. 2008（アニエスベーとのコラボレーション）
10 月	アニエスベー ボヤージュ 表参道店（ART FACADE PROJECT）

＜パブリック・コレクション＞

アニエスベー・コレクション（フランス）
アーツ前橋（群馬）
市原湖畔美術館（千葉）
大分市（大分）
金沢 21 世紀美術館（石川）
群馬県立近代美術館（群馬）
株式会社ジンス（東京）
高橋龍太郎コレクション（東京）
タグチ・アートコレクション（東京）
東京都現代美術館（東京）
十和田市現代美術館（青森）
日産自動車（神奈川）
フォンダシオン・インク（スイス）
前澤友作コレクション（千葉）
株式会社リコー（東京）
ロンドン芸術大学（イギリス）

＜主なレクチャーとプレゼンテーション＞（w/ は共演を示す）

2025 年 05 月	アーティストトーク- 金沢 21 世紀美術館（石川）＜予定＞
2024 年 08 月	HAJIMARI Talk Live No.003「アートと建築をつなぐもの～点、線、面からチューブへ～」- HAJIMARI Beppu（大分）
03 月	トーク・セッション「書き／描き残すことについて」 w/浅井裕介 - NADiff a/p/a/r/t（東京）
03 月	アーティストック GUNMA「高校生のための特別授業」- 群馬県立近代美術館（群馬）
2023 年 11 月	トークショー w/村田峰紀 - rin art association MAEBASHI（群馬）
10 月	"DRAWING THE LINES BETWEEN ART AND SCIENCE" w/ティム・インゴルド - 東京藝術大学（東京）
04 月	CORRESPONDENCE: DRAWING SYMPOSIUM 2023 w/ゲリー・ヴァーナー（シドニー）
2022 年 11 月	公募 AIR ゲスト審査員トーク w/ヴァネッサ・エンリケス、橋本晶子、前田耕平、吉田真也 - 国際芸術センター青森（青森）
11 月	特別講義「野生のドローイング」w/浅井裕介、石田尚志 - 多摩美術大学（東京）
03 月	「生の軌跡-Traces of life-」鈴木ヒラク レクチャー&トーク - アーツ前橋（オンライン） https://www.youtube.com/watch?v=G5VdmErC4hY&t=2546s
02 月	「ドローイングを拡張せよ！」Drawings - Plurality 展 w/村山悟郎、やんツー、MC 宇川直宏 - DOMMUNE（オンライン）
2019 年 12 月	吉増剛造 x 鈴木余位 x 鈴木ヒラク - 東京都現代美術館（東京）
09 月	中学生対象レクチャー - 北海道立函館美術館（北海道）
07 月	The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館／CA102（北海道）
06 月	特別授業（伊藤存）- 京都立芸術大学（京都）
05 月	Drawing Tube vol.4 w/ 西野壮平 x GAP students - Suzuki Hiraku Studio（東京）

03月	アートみやぎ - 宮城県立美術館 (宮城)
2018年09月	トーク w/ 近藤正勝 - Minatomachi POTLUCK BUILDING (愛知)
07月	特別授業 (伊藤俊治) - 東京芸術大学大学院 (東京)
06月	「デザインする心」を学ぶ 芸術系教科実践講座 - 青森県総合学校教育センター (青森)
03月	トーク w/ BIEN - BLOCK HOUSE (東京)
2017年12月	トーク/レクチャー・パフォーマンス「かくとはなす」w/ 今福龍太 - アーツ前橋 (群馬)
10月	トーク「ヒツクリコ ガツクリコ トーク」w/ 名児耶明、住友文彦 - 前橋文学館 (群馬)
07月	特別授業 (小沢剛) - 東京芸術大学 (東京)
05月	特別授業 (住友文彦) - 東京芸術大学大学院 (東京)
03月	シンポジウム「大分市アートを活かしたまちづくりシンポジウム」w/ 野田邦弘、山出淳也 - コンパルホール (大分)
01月	トーク「日々のでんてん、巡るせんせん」w/ 浅井裕介 - NADiff a/p/a/r/t (東京)
2016年10月	特別講義 (飯田志保子) - 東京芸術大学 (東京)
09月	「本を描く」Drawing Tube vol.2 w/ 伊藤存 - 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス (東京)
08月	トーク/レクチャー・パフォーマンス w/ 坂口恭平 - shimauma (東京)
07月	トーク「ぐるっと展望！現代アート入門 -高橋コレクション」w/ 高橋龍太郎 - 金津創作の森 (富山)
02月	アーティスト・トーク w/ 岡村恵子 - 東京都写真美術館 (東京)
2015年12月	シンポジウム w/ Daniela Tagowska、Prezemek Pintal、堀尾貞治 - BARBARA (ヴロツワフ、ポーランド)
12月	トーク「写真とドローイング、そして都市」w/西野壮平 - IMA GALLERY (東京)
11月	アーティスト・トーク - Kunstraum Düsseldorf (デュッセルドルフ、ドイツ)
06月	特別講義 (伊藤俊治) - 東京芸術大学大学院 (東京)
05月	アーティスト・トーク - 国際芸術センター青森 (青森)
2014年12月	特別講義 (クリストフ・シャルル) - 武蔵野美術大学 (東京)
2014年04月	特別公開授業『未来を発掘する』 - 早稲田塾 (東京)
2013年07月	アーティスト・トーク - 霧島アートの森 (鹿児島)
2013年05月	アーティスト・トーク w/ サイモン・ケイナー博士 - 大和日英基金 (ロンドン)
2008年12月	『メディアアート論』特別講義 (岩井天志) - 東北芸術工科大学 (山形)
04月	トーク w/ Sing02 - アップリンク・ファクトリー (東京)

<アートワーク提供>

2024年	マヒトゥ・ザ・ピーポー監督映画『i ai (アイアイ)』 - 題字 (PARCO 配給)
2022年	高橋憲人『環境が芸術になるとき』 - 書籍装丁 (春秋社)
2020年	Petter Frost Fadnes 『Jazz on the line : improvisation in practice / Series: Transnational studies in jazz』 - 書籍装丁 (Routledge, イギリス)
	山出淳也「アート、まちに出る」新聞連載 - 挿絵と題字 (西日本新聞社)
2017年	植野隆司 『Tea in the Guitara』 - CD (宇治香園)
2016年	植野隆司 × 鈴木ヒラク 『Son et lumiere』 - CD (majikick)
	George Quasha 『art is (SPEAKING PORTRAITS)』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)
2015年	J.A.K.A.M. 『COUNTERPOINT EP.1』 - 12 inch (T-Annex)
2014年	Bonnie Marranca 『Conversations with Meredith Monk』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)
2013年	Aya Nishina 『Flora』 - CD (Tzadik, アメリカ)
	Paul David Young 『new ART theatre』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)
2008年	SHING02 『歪曲』 - CD (MARYJOY RECORDINGS)
	Ueno 『Sui-Gin』 - CD (ROOM40, オーストラリア)
2005年	Nude Jazz 『Cynodontia』 - CD (MARYJOY RECORDINGS)
	Veno Tagashi 『NEW GLASS』 - CD (360° Records)
	SHING02 『KOSMIC RENAISSANCE - LIVE IN TOKYO』 - CD/DVD (MARYJOY RECORDINGS)
2004年	Veno Tagashi 『Venotagashi 2』 - CD (majikick)

<音楽作品出版>

2010年11月	『Beam Drop』 Rui Gato & Hiraku Suzuki (test tube、ポルトガル)
2000年08月	『bacteria sign』 Hiraku Suzuki

<その他のメディア出演>

2023年12月	「POST FAKE」 - TOKYO MX (東京) https://www.youtube.com/watch?v=QvrihsHu5Z0
2022年09月	「GROWING REED」 - J-WAVE (東京)
06月	「アートフルワールド」 - BS フジ

<アートフェア>

2025 年 06 月	Liste Art Fair Basel (Parcel) - Messe Basel (バーゼル、スイス) <予定>
04 月	Art Düsseldorf (anonymous art project) - Areal Böhrer (デュッセルドルフ、ドイツ) <予定>
03 月	アートフェア東京 2025 (大丸松坂屋) - 東京国際フォーラム (東京)
2024 年 07 月	第2回 Tokyo Gendai (rin art association、EACH MODERN) - パシフィコ横浜 (神奈川県)
2022 年 03 月	アートフェア東京 2022 (EACH MODERN) - 東京国際フォーラム (東京)
2021 年 11 月	ART021 Shanghai Contemporary Art Fair (EACH MODERN) - Shanghai Exhibition Center (上海、中国)
10 月	Art Taipei 2021 (EACH MODERN) - 台北世貿一館 (台北)
2020 年 11 月	West Bund Art & Design (EACH MODERN) - West Bund Art Center (上海、中国)
2019 年 01 月	Taipei Dangdai (EACH MODERN) - Taipei Nangang Exhibition Center (台北)
2018 年 11 月	West Bund Art & Design (EACH MODERN) - West Bund Art Center (上海、中国)
03 月	DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - キャロ・デュ・タンブル (パリ)
2017 年 03 月	アートフェア東京 2017 (西武) - 東京国際フォーラム展示ホール (東京)
2016 年 03 月	Art Basel Hong Kong 2016 Discoveries Section (Misa Shin Gallery) (香港)
2014 年 03 月	DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - キャロ・デュ・タンブル/エスパス・コミンヌ (パリ)
2013 年 04 月	DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - カラーゼル・デュ・ルーヴル (パリ)
2012 年 05 月	Art HK12 (Island JAPAN) (香港)
2011 年 02 月	TOKYO FRONTLINE - 3331arts chiyoda (東京)

<参考文献>

- 出版物

2023 年 11 月	『鈴木ヒラク 今日の発掘』Drawing Tube
09 月	『DRAWING ドローイング 点・線・面からチューブへ』左右社
2020 年 01 月	『SILVER MARKER: Drawing as Excavating』HeHe
2017 年 07 月	『Drawing Tube vol.01 Archive 鈴木ヒラク ドローイング・パフォーマンス ゲスト：吉増剛造』Drawing Tube
2015 年 12 月	『鈴木ヒラク かなたの記号 言語と空間 Langue and Space Vol.1』青森県立大学国際芸術センター
2010 年 12 月	『鉱物探し — Looking For Minerals』ビームス
02 月	『GENGA』河出書房新社/アニエスパー
2008 年 03 月	『TEAM 11 鈴木ヒラク — NEW CAVE』財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト

- 展覧会図録

2024 年 11 月	『百年後芸術祭〜環境と欲望〜内房総アートフェス』現代企画室
08 月	『日本現代美術私観 高橋龍太郎コレクション』東京都現代美術館
05 月	『第9回 東山魁夷記念 日経日本画大賞』日本経済新聞社
2022 年 02 月	『Signals - Drawing Tube』Drawing Tube
01 月	『生の軌跡—Traces of life—』アーツ前橋
2020 年 06 月	『アラワシの詠 (うた)』社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館
01 月	『MOT アニュアル 2019 Echo after Echo: 仮の声、新しい影』東京都現代美術館
2019 年 04 月	『球体のパレット〜タグチ・アートコレクション』中西出版
02 月	『アートみやぎ 2019』宮城県立美術館
2017 年 12 月	『アートのなぞなぞ 高橋コレクション展』静岡県立美術館
11 月	『いちばらアート×ミックス 2017』美術出版社
11 月	『ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所』左右社
04 月	『高橋コレクションの宇宙』熊本市現代美術館
2016 年 07 月	『ぐるっと展望！現代アート入門 — 高橋コレクション』金津創作の森
06 月	『Vancouver Biennale2014-2016』Vancouver Biennale
03 月	『栗津潔、マクリヒロゲル 1 「美術が野を走る：栗津潔とパフォーマンス」』金沢 21 世紀美術館
02 月	『東京都写真美術館主催第8回恵比寿映像祭「動いている庭」』東京都写真美術館
01 月	『現代ドローイング国際芸術祭「トゥー・スティックス」 (Think Tank Lab Triennale) 』THINK TANK LAB
2015 年 10 月	『COSMOS/INTIME - LA COLLECTION TAKAHASHI』パリ日本文化会館
03 月	『国東半島芸術祭記録集』美術出版社
09 月	『5 × 3』Kunstraum Düsseldorf
2014 年 10 月	『Red Bull Music Academy Tokyo 2014』Redbull
2013 年 12 月	『日産アートアワード 2013』日産アートアワード運営事務局
10 月	『高橋コレクション-マインドフルネス！』美術出版社
02 月	『ソリエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智』FOIL
05 月	『Wall Art Festival in Warli』Blue Bear Inc.
2011 年 11 月	『地表より遠く離れて』 (for iPhone アプリ) TALION GALLERY
09 月	『DRAWING -線を描くという営為』island
2010 年 03 月	『六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か？』美術出版社

2009年07月 『愛についての100の物語』金沢21世紀美術館
 03月 『VOCA展2009』 「VOCA展」実行委員会
 2008年12月 『都市のディオラマ』財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト

- 主な執筆

2024年05月 エッセイ「ノスタルギア」『群像』2024年6月号、講談社
 2023年03月 『弦楽器としてのレジデンス』 Making Things、国際芸術センター青森
 2022年07月 審査についての所感（鈴木ヒラク）公募AIRリーフレット、国際芸術センター青森
 2021年10月 エッセイ Signals#30、Drawing Tube
 07月 『群馬青年ビエンナーレ2021』カタログ、群馬県立近代美術館
 2019年09月 「私の描くグッとムービー」『朝日新聞』2019年9月13日夕刊、朝日新聞社
 2018年08月 コメント アニエス・ヴァルダ × JR 監督 映画『顔たち、ところどころ』に寄せて
 2016年01月 植野隆司 × 鈴木ヒラク『Son et lumiere』CDブックレット、majikick
 2015年08月 コメント アニエス・トゥルブレ監督 映画『わたしの名前は...』に寄せて
 2012年09月 エッセイ『ソネリユミエール 物質・移動・時間、そして叡智』、FOIL
 エッセイ Drawing As Excavating『PAJ A Journal of Performance and Art』2012年9月号 Volume34, No.3、MIT Press Journals（アメリカ）、pp84-89
 2011年12月 エッセイ Drawing as signals『Bright 6』Graduate School Directory 2011/12、ロンドン芸術大学
 2010年07月 Tower Records Online 内、intoxicate web original contents <Four Monkeys>

- その他の主な記事（出版物）

2024年 「産業TREND／アート思考 未来創造の起爆剤（19）「境界」の概念拡張」『日刊工業新聞』2024年11月27日、日刊工業新聞社
 [ARTIST IN FOCUS] 鈴木ヒラク：ドローイングが拓く未知の領野との対話『美術手帖』2024年1月号、美術出版社、p164-169
 「カフカ没後100年 現代に通じる不条理を読み解く」『日本経済新聞』2024年1月1日、日本経済新聞社
 2023年 今週の本棚『DRAWING ドローイング 点・線・面からチューブへ』＝鈴木ヒラク著『毎日新聞』2023年10月14日、毎日新聞社
 『すばる』2023年12月号「見えないものを引き出す線」驚田めるる、集英社、pp288-289
 鈴木ヒラクインタビュー『アートコレクターズ』No.175 2023年10月号、生活の友社、p2-4
 「来場者前で「線」表現」『上毛新聞』2023年9月17日、上毛新聞社
 『アートコレクターズ』No.168 2023年3月号、生活の友社、p7
 「東奥春秋」『東奥日報』2023年1月27日、東奥日報社
 2022年 対談記事：鈴木ヒラク、藤本壮介『東奥日報』2022年12月28日、東奥日報社
 「知覚情報としてのドローイングの可能性」『AXIS』Vol.219 2022年10月号、アクシス、pp100-105
 「生の軌跡」展で動画配信 制作背景 作家が解説『上毛新聞』2022年3月4日、上毛新聞社
 高橋憲人『環境が芸術になるとき』、春秋社、pp158-172
 2021年 特別対談：高橋龍太郎×小山登美夫『ONBEAT』vol.14、株式会社音美衣社、pp70-81
 2020年 高橋龍太郎の「ニッポン現代アートの価値」第三回 鈴木ヒラク『ONBEAT』vol.13、株式会社音美衣社、pp84-87
 『美術屋・百兵衛』2020年春 No.53、株式会社麗人社、p93
 『EYESCREAM』No.175、株式会社スペースシャワーネットワーク、pp40-45
 Petter Frost Fadnes『Jazz on the line : improvisation in practice / Series: Transnational studies in jazz』2020年 Routledge、pp26-28
 2019年 「The wall 01 鈴木ヒラク」『朝日新聞』2019年8月13日夕刊、朝日新聞社
 竹内佐和子『日本文化を語る』2019年7月9日、淡交社
 2018年 楊婉茹「以点と線描繪宇宙秩序（宇宙の秩序を点と線で描写する）」『典藏・今藝術&投資』、第314期11月号、典藏今藝術&投資編輯群、pp164-165
 リサーチレポート「ともに地球の声をきく」『上野公園スタディーズ資料集』2018年3月、上野文化の杜新構想実行委員会、pp28-29
 対談「写真家の食卓 西野壮平×中村裕太×鈴木ヒラク」『IMA』Vol.24 2018年5月29日号、アマナホールディングス、pp144-149
 セレクト10『ブレーン』2018年6月号、宣伝会議、p129
 2017年 「大分市新たな壁画が完成」『大分合同新聞』2017年2月5日朝刊14面、大分合同新聞社
 2016年 インタビュー『日経MJ』2016年10月12日発行、日経新聞社
 インタビュー『TOKYO WONDER SITE ANNUALREPORT2015』2016年7月14日発行、財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト、pp12-15
 伊藤俊治「空間を身体化するドローイング」『AC2 [エー・シー・ドゥー]』17号、2016年3月、青森公立大学国際芸術センター
 2015年 北出智恵子「架空の考古学、あるいは、宇宙を針穴に通すということ」『美術手帖』2015年8月号、美術出版社 pp194-195
 『Rolling Stone』10 vol.110、Power to the people、p34

- 2014年 大友克洋とコラボレーションによるアートワーク掲載『Comme des Garçons』26
- 2011年 作品紹介とインタビュー『LODOWM MAGAZINE #77』2011年7月、LODOWM MAGAZINE（ベルリン）、pp114-118
作家紹介『このアートがすごい2011』2011年2月、TOKYO FRONTLINE 事務局、pp72-73
- 2010年 岩淵貞哉「AUTHOR この著者に会いたい『GENGA』」『美術手帖』2010年5月号、美術出版社、p188
久保正樹「LONG REVIEW」『inoxicate』vol.85、タワーレコード、p72
art book of the month『DAZED&CONFUSED ISSUE188』2010年7月15日号、Waddell Limited
作家紹介『美術手帖』2010年6月号、美術出版社、p70
原田優輝「日常の狭間の発見を描き出す鈴木ヒラクのドローイング」『QUOTATION No.7』2010年4月26日号、BNN 新社、p73
- 2009年 『世界の、アーティスト・イン・レジデンスから』2009年12月1日、サムワズガーデン、pp133-134
富樫勲『BARFOUT!』2009年7月号 Vol.167、幻冬社
「15メートルの紙に文様描く 21世紀美術館でライブ」『北國新聞』2009年5月6日12面、北國新聞社
Between Site and Space『Column 3』2009年、Artspace Visual Arts Centre（Sydney, Australia）
アートワーク掲載『よむ花椿』2009年2月号 No.704、資生堂、p25
アートワーク掲載『SPROUT』2009年1月号 Vol.11、Sprout Japan Inc.
- 2008年 ART BIT「Road Sign - Diamond」『AERA』2008年11月3日号、朝日新聞出版、p92
オリバー・ワトソン『PAPERBACK MAGAZINE issue 2』（ロンドン）
IMAGE TO SURVIVE experimental group show on paper『SPROUT』VOL.11、SPROUT JAPAN INC.
- その他の主な記事（インターネット）
- 2024年 [ARTIST IN FOCUS] 鈴木ヒラク：ドローイングが拓く未知の領野との対話 - 美術手帖
2024年2月8日 <https://bijutsutecho.com/magazine/news/exhibition/27723/pictures/1>
- 2023年 鈴木ヒラク×藤本壮介 十和田市地域交流センター（とわふる）壁画作品《光と遊ぶ石たち》公開記念対談 - Tokyo Art Beat
2023年1月31日 <https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/hiraku-suzuki-sousuke-fujimoto-towakomyu-talk-2023-01>
- 2022年 終わらないドローイング —— 「Drawings - Plurality 複数性へと向かうドローイング <記号、有機体、機械>」展レビュー
四方幸子 - DOZiNE 2022年2月25日 <https://hagamag.com/uncategory/10702>
「ドローイングとは何か？そしてどこに向かうのか？鈴木ヒラク、村山悟郎、やんツーが語る」 - ウェブ版美術手帖
2022年1月29日 <https://bijutsutecho.com/magazine/interview/promotion/25136>
- 2021年 「ドローイングで光の粒子を発掘する。鈴木ヒラクの考える音と光の関係とは」 - Audio-Technica 2021年8月30日
<https://www.audio-technica.co.jp/always-listening/articles/hiraku-suzuki/>
Artist | 鈴木ヒラク 鈴木展 Hiraku Suzuki | 2021 - Each Modern 2021年7月30日
<https://www.youtube.com/watch?v=hT18b80QajA>
WHAT ARTIST INTERVIEW #鈴木ヒラク - WHAT MUSEUM 2021年7月15日
<https://www.youtube.com/watch?v=cEBNcnUPmsM&t=671s>
「描く、書く、搔く、欠く、画く—ドローイングの拡張から見出されるもの。檜山真有評」 - ウェブ版美術手帖
2021年6月30日 <https://bijutsutecho.com/magazine/review/24179>
「ドローイング・オーケストラ」とは何か——鈴木ヒラクと大原大次郎の対話、参加アーティストの証言からその全貌を探る - TOKION 2021年4月28日
https://tokion.jp/2021/04/28/drawing-orchestra/?fbclid=IwAR2ymeLital9KGHMF6V6P8JTJxjk1CEPmOjywe-4her_-fWWH68X5HqAW60
- 2020年 「ドローイングで発掘する世界のかたち。鈴木ヒラク インタビュー」 - ウェブ版美術手帖 2020年2月8日
<https://bijutsutecho.com/magazine/interview/21303>
「鈴木ヒラクが『MOT アニュアル』で試みる ドローイング行為の拡張」 - CINRA 2020年2月12日
https://www.cinra.net/report/202002-drawingorchestra_myhrt
- 2018年 対談「写真家の食卓 西野壮平×中村裕太×鈴木ヒラク」 - IMA 2018年6月号
https://imaonline.jp/articles/style/20180622photographers-table_01/#page-1
「2つの個展からドローイングの可能性を考える。服部浩之が見た「鈴木ヒラク - 交通」、清田泰寛「Melody Date」 - ウェブ版「美術手帖」2018年5月31日 <https://bijutsutecho.com/insight/15926/>
「鈴木ヒラクの個展が開催。"交通"をテーマに、時空間に新たな回路を開通させる」 - EYESCREAM 2018年4月26日
<https://eyescream.jp/art/17752/>
「テーマは「交通」。時空間に新たな回路を開通させる鈴木ヒラクの個展が開催」 - ウェブ版「美術手帖」2018年4月24日
<https://bijutsutecho.com/news/14129/>
「鈴木ヒラク個展「交通」」 - SHIFT 2018年4月21日
<http://www.shift.jp.org/ja/blog/2018/04/hiraku-suzuki-traffic/>
「鈴木ヒラクアートフロントギャラリー | 東京 | 渋谷 | 表参道 2018.04.27 - 05.27」 - ART NAVI 2018年3月30日
<https://ex.artnavi-bt.com/exhibition/1820>
「天王洲アイルでアートイベント「TOKYO CANAL LINKS #5」が開催決定！」 - TOKYO ART BEAT 2018年2月22日号
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2018/02/tokyo-canal-links-5.html>
住友文彦「キュレーターズノート 足利市立美術館「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」、アーツ前橋+前橋文学館
「ヒックリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」 - artscape 2018年1月15日号

- http://artscape.jp/report/curator/10142529_1634.html
- 2017 年 「「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」。詩や美術を通じて、言葉の力を問い直す」 - AXIS Web Magazine
2017 年 12 月 13 日 <https://www.axismag.jp/posts/2017/12/87185.html>
「鈴木ヒラクが群馬県で特別展示を開催。光のインスタレーションを発表」 - 美術手帖 2017 年 10 月 23 日号
<https://bijutsutecho.com/news/8347/>
「「ことば」を切り口に古今東西の表現を紹介『ヒツクリコ ガツクリコ』展」 - CINRA.NET 2017 年 10 月 11 日号
<https://www.cinra.net/news/20171011-hitsukurikogatsukuriko>
「鈴木ヒラクと吉増剛造のドローイング・パフォーマンスの記録『Drawing Tube vol.01 Archive』刊行」 - type.center
2017 年 9 月 5 日 <http://type.center/news/10071>
「アーティスト鈴木ヒラクと日本を代表する全身詩人・吉増剛造のセッション【NADiff オススメ BOOK】」 - infoseek
2017 年 8 月 10 日 https://news.infoseek.co.jp/article/fashion_headline_18403/
Hiraku Suzuki's New Book,"Drawing Tube vol.01 Archive" - TeRra.
<https://magazinetera.com/hiraku-suzukis-new-book-drawing-tube-vol-01-archive/>
「artscape レビュー Drawing Tube vol.01 Archive」 - artscape 2017 年 7 月 15 日号
http://artscape.jp/report/review/10137061_1735.html
「CHECK CHECK CHECK! 今週のイチオシ!」 - CINRA.NET 2017 年 7 月 10 日号
<https://www.cinra.net/summary/20170710-cinramatome>
「鈴木ヒラクと吉増剛造のドローイング・パフォーマンスを記録した『Drawing Tube vol.01 Archive』が刊行」
- TOKYO ART BEAT 2017 年 7 月 8 日号
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2017/07/hiraku-suzuki-drawing-tube.html>
「カフェ本に鉄道写真 光るトンネルのアートも 白鳥・養老エリア【いちばらアート×ミックスへ行こう!】<5>」
- ちばとぴ!チャンネル 2017 年 5 月 7 日 <http://chibatopi.jp/la0e3c95>
Pastore, Jennifer. "Six Golden Week Getaways" Tokyo Art Beat. 2017.4.27,
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/en/2017/04/six-golden-week-getaways.html>
「本日スタート! 注目の若手アーティストを知るチャンス「ポーラミュージアム アネックス展」」 - girls artalk
2017 年 3 月 31 日 <http://girlsartalk.com/feature/25233.html>
「大分で「アートを活かしたまちづくりシンポジウム」」 - 大分経済新聞、2017 年 03 月 22 日
<https://oita.keizai.biz/headline/751/>
「スガダイローxJ・モランのコラボ公演 ゲストに田中泯、鈴木ヒラク」 - CINRA 2017 年 2 月 10 日号
<https://www.cinra.net/news/20170210-sugamoran>
Brett Littman, Andrew Solomon, Serghei Litvin 「TOP TEN FID GRAND PRIZE 2017」
http://thefid.org/wp-content/uploads/2017/01/FID_PRIZE_2017_Catalog.pdf
- 2016 年 「『鈴木ヒラク -Constellations-』」 - CINRA.NET 2016 年 10 月 4 日
<https://www.cinra.net/event/20161004-suzukihiraku>
「「黒」が西武渋谷店全館をジャック 鈴木ヒラクのアートも登場」 - Fashionsnap.com 2016 年 9 月 29 日号
<https://www.fashionsnap.com/article/2016-09-29/shibuya-noir/>
「WWW X がキュレーション「アニエスベー キオスク」第 7 弾開催 | agnès b.」 - OPENERS 2016 年 9 月 13 日号
<http://openers.jp/article/1505126>
「テニスコート植野隆司とライブドローイングの 10 時間パフォーマンスを CD 化」 - 音楽ナタリー 2016 年 1 月 30 日
<https://natalie.mu/music/news/174290>
- 2015 年 「鈴木ヒラク x NEW ALTERNATIVE (壁画公開)」 - かごしま文化情報センター 2015 年 12 月
<http://www.kcic.jp/art/12967>
「Cosmos\Intime : 30 Ans D'art Contemporain Japonais」 - VALGIRARDIN.FR 2015 年 10 月 22 日号
<http://valgirardin.fr/culture/sorties-loisirs/exposition/cosmosintime-30-ans-dart-contemporain-japonais>
「アートや写真、音楽がクリエーションソース<アニエスベー>のスピリットを体感 agnès b. !! Spirit」
- Isetan park net 2015 年 10 月 7 日 http://isetanparknet.com/news_event/151007-agnesb.html
「SIDE CORE 「路・線・図」 : 7 名のアーティストによるドローイングの展覧会」 - honeyee.com 2015 年 5 月 23 日
https://www.honeyee.com/art-culture/170321_ro_sen_zu
Aya Shomura "HIRAKU SUZUKI "TRAITS D'ESPRIT"" - SHIFT. 2015.4.14,
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2015/04/hiraku-suzuki-traits-desprit/>
- 2014 年 能勢陽子「キュレーターズノート「希望の原理」(国東半島芸術祭)」 - artscape 2014 年 12 月 1 日号
http://artscape.jp/report/curator/10105173_1634.html
「アーティスト・鈴木ヒラク氏特別公開授業レポート」 - 早稲田塾 2014 年 4 月 8 日
<http://www.wasedajuku.com/school/wasedane/all/detail.php?itemid=2672>
「美術手帖 1000 号記念「COVERED TOKYO: PARK NIGHT, 2014」開催」 - TOKYO ART BEAT 2014 年 2 月 27 日号
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2014/02/covered-tokyo2014.html>
- 2013 年 ADRIAN FAVELL「チェックと日本の現代美術界についての感想」 - ART iT 2013 年 3 月 15 日
<http://www.art-it.asia/u/rhqiun/SRLDEKjW4upbzwvdvq8GC/>
「次世代担う『日産アートアワード』ファイナリスト展、現代美術作家 8 人が新作制作」 - CINRA.NET 2013 年 9 月 17 日号
<https://www.cinra.net/news/2013/09/17/123019.php>
「Excavated Reverberations by Hiraku Suzuki」 - The East. 2013.3.21

- 2012 年 <http://www.theeast.org/excavated-reverberations-by-hiraku-suzuki/>
「14 作家から人間の内面世界を照らす、展覧会『ソネエリュミエール、そして叡智』」 - CINRA.NET 2012 年 9 月 14 日号
<https://www.cinra.net/news/2012/09/14/203144.php>
「音楽家とアーティストによる異ジャンル即興セッションイベント『XXX』」 - CINRA.NET 2012 年 6 月 28 日号
<https://www.cinra.net/news/2012/06/28/190447.php>
Artcards Review "Armory Arts Week Event: 'Editquette' Photo Recap" - ARTCARDS Review. 2012.4.3
<http://artcards.cc/review/armory-arts-week-event-editquette-photo-recap/5263/>
Satsuki Miyanishi "ONE AND MANY" - SHIFT. 2012.1.13,
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2012/01/one-and-many/>
- 2011 年 「川久保 玲が認めた若き才能、アーティスト 鈴木ヒラク氏の展示が開催」 - OPENERS 2011 年 12 月 5 日号
<http://openers.jp/article/13283>
「谷中にギャラリー「TALION GALLERY」開廊、初回は逢坂卓郎と鈴木ヒラクの 2 人展」 - CINRA.NET 2011 年 11 月 1 日号
<https://www.cinra.net/news/2011/11/01/142143.php>
「ケネス・アンガーの魔術的映像作品を T シャツにデザイン、ライブ印刷イベント開催」 - CINRA.NET 2011 年 8 月 24 日号
<https://www.cinra.net/news/2011/08/24/130219.php>
「「ケネス・アンガーの洗礼はそれこそトラウマ」伊藤桂司と河村康輔が語る伝説的映像作家の集成『マジック・ランタン・サイクル』」 - WEB DiCE 2011 年 8 月 27 日号 <http://www.webdice.jp/dice/detail/3190/>
Memi Mizukami" HIRAKU SUZUKI "GLYPHS OF THE LIGHT"" - SHIFT. 2011.7.29,
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2011/07/hiraku-suzuki-glyphs-of-the-light-2/>
Yuko Miyakoshi" - TOKYO FRONTLINE" SHIFT. 2011.3.9
http://www.shift.jp.org/en/archives/2011/03/tokyo_frontline.html
- 2010 年 「生西康典による一夜限りの新作舞台に館屋法水、大谷能生、鈴木ヒラクが参加」 - CINRA.NET 2010 年 12 月 20 日号
<https://www.cinra.net/news/2010/12/20/170312.php>
「鈴木ヒラク個展『U』 island MEDIUM」 - art-index 2010 年 12 月 12 日
http://www.art-index.net/art_exhibitions/2010/12/u.html
「Journal | 鈴木ヒラク インタビュー」 - CAT'S FOREHEAD 2010 年 12 月号
<http://cats-forehead.jp/journal/HirakuSuzuki.html>
「鉱物をテーマにした新作ドローイングを紹介、鈴木ヒラク個展『U』」 - CINRA.NET 2010 年 11 月 30 日号
<https://www.cinra.net/news/2010/11/30/221314.php>
Rei Kagami" Roppongi Art Night 2010" - TOKYO ART BEAT, 2010.5.10
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries.en/2010/05/roppongi-art-night-2010-2.html>
「六本木アートナイト 2010」 - TOKYO ART BEAT 2010 年 5 月 6 日号
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries.ja/2010/05/roppongi-art-night.html>
「森美術館で行われる 3 年に 1 度の展覧会『六本木クロッシング 2010 展』」 - CINRA.NET 2010 年 3 月 15 日号
<https://www.cinra.net/news/2010/03/15/210225.php>
「鈴木ヒラク作品集&出版記念イベント」 - ART iT 2010 年 2 月 26 日号
http://www.art-it.asia/u/admin_news/mgFVM47lyB0PHlbGfeAx/
原田優輝「鈴木ヒラク インタビュー」 - PUBLIC-IMAGE.ORG 2010 年 5 月 10 日
<https://archive.fo/WuQXS#selection-363.5-363.9>
Mariko Takei 「THINGS 鈴木ヒラク初作品集「GENGA」」 - SHIFT 2010 年 2 月 27 日
<http://www.shift.jp.org/ja/archives/2010/02/genga.html>
「〈住所不定の自然〉に惹かれる」 マーカーとコピー用紙で世界の狭間に記号を刻むアーティスト・鈴木ヒラクに
五所純子が聞く」 - web DICE 2010 年 5 月 20 日号 <http://www.webdice.jp/dice/detail/2447/>
- 2008 年 Mariko Takei 「PEOPLE:鈴木ヒラク:ドローイングで今ここに潜む未来を発掘する」 - SHIFT 2008 年 10 月 29 日号
http://www.shift.jp.org/ja/archives/2008/10/hiraku_suzuki.html
http://www.shift.jp.org/en/archives/2008/10/hiraku_suzuki.html
DONALD EUBANK 「Diorama of the City: Between Site and Space」 - JAPAN TIMES 2008 年 10 月 2 日号
<http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/fa20081002b1.html>